

精密機械・ロボット

主要製品

- 建設機械用油圧機器 ●農業機械用油圧機器 ●産業機械用油圧機器・装置 ●船用舵取機 ●船用各種甲板機械
- 産業用ロボット ●医薬・医療用ロボット

精密機械・ロボットカンパニー
 プレジデント
 嶋村 英彦



カンパニービジョン

自動車、建設機械、電子機器などの産業界や医療分野において、競合他社を圧倒する性能・品質を実現した油圧機器やロボットを中核製品として、トータルソリューションを創造・提供する“世界標準”のモーションコントロールメーカー

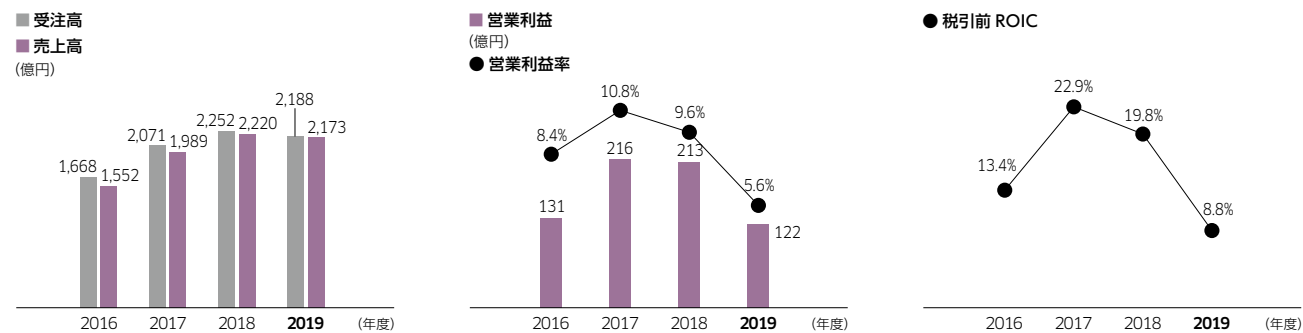
機会	リスク
油圧機器 ●新興国を中心とする世界的なインフラ整備による需要拡大 ロボット ●人とロボットの共存・協調の実現によるロボット適用分野の拡大 ●感染症対策および労働力不足の解消・品質向上を目的とした需要拡大 ●工業分野以外(医療・介護など)でのロボット化の進展	油圧機器 ●母機メーカーによる油機内製化の可能性と新興国メーカーの市場参入 ●中国建機市場の急激な冷え込み ●造船市況の低迷による船用油機の市場回復の遅れ、価格競争激化 ロボット ●競合他社との価格競争の激化 ●米中摩擦による半導体市場への影響 共通 ●ウイルス感染拡大による設備投資意欲の減退

コアコンピタンス

- 油圧機器 ●シヨベル用油圧機器における世界先端技術の蓄積・システム化能力とブランド力
●顧客要求への対応力
- ロボット ●顧客の多様な要求に応える適用開発力・システム提案力
●グローバルなサービス体制
- 共通 ●油圧技術とロボット技術の融合によるモーションコントロール分野における新製品開発能力

事業運営方針

- 油圧機器 ●シヨベル分野での高シェアの維持・拡大、シヨベル以外の建機・農機分野への拡販、メガトレンドを意識した製品開発・市場開拓
- ロボット ●既存分野：自動車業界向けの適用範囲拡大、ラインビルダー業務の拡大、人共存・協調分野の拡販を通じたシェアアップ
●新規分野：ロボットテクノロジーとIoT/AIとの融合による新ビジネスの確立、油圧技術との融合によるシナジー製品の開発、手術支援ロボットの拡販、PCR検査自動化システムの上市・拡販



事業環境と戦略

建設機械市場向け油圧機器は、先進国を中心に新型コロナウイルス感染拡大の影響による短期的な市況の悪化が見込まれますが、新興国を中心としたインフラ整備の拡大に伴い、中長期的には着実な成長が期待できます。

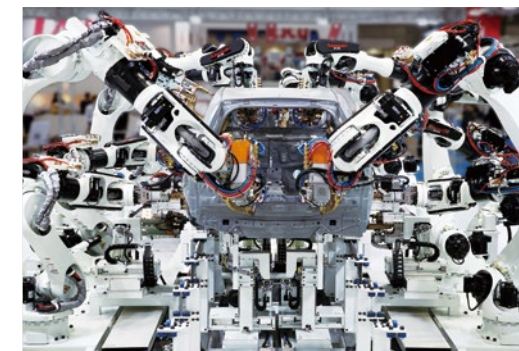
当社は、世界のシヨベル用油圧機器市場でトップシェアを有しており、今後も世界最先端の技術やシステム化能力、ブランド力、顧客対応力を発揮することで高シェアの維持・拡大を図ります。また、海外でのシェアが比較的低いシヨベル以外の建設機械や農業機械向けへ積極的に事業展開し、さらなる成長と安定性の向上を図ります。

ロボット事業は、新型コロナウイルス感染拡大による顧客の設備投資意欲の減退はあるものの、一方で今後は感染症対策としてのロボット需要の増加も見込まれます。また、中長期的には労働力不足への対応や品質向上を目的として既存の産業用ロボットの需要拡大が続くと見込まれます。加えて、人とロボットの共存・協調の実現や医療・介護などへのロボット技術の適用など、ロボットの利用範囲の拡大が予想されます。

当社は、既存分野においては、自動車会社向けの適用拡大、EV・HV化への対応、ラインビルダー業務の拡大、人共存・協調ロボット「duAro」の拡販などを推進します。また、自社事業向けにさまざまな用途のロボットを開発した経験を活かしたソリューションの提供や、販売・サービス体制の拡充などにより拡販を進め、シェアアップを図ります。新規分野においては、Successor[®]をはじめとしたロボットテクノロジーとIoT/AIとの融合による新ビジネス分野の確立や、シスメックス株式会社と共同で設立した株式会社メディカロイドで手掛ける手術支援ロボットの拡販およびPCR検査自動化システムの事業化を目指します。

精密機械・ロボットカンパニーでは、引き続き油圧機器とロボットにおける生産面での協業や両者の技術を組み合わせた新製品の開発などのシナジーを追求し、カンパニー全体での事業強化を図ります。

※ Successor: 力感がフィードバックされる遠隔操作器を介して、熟練作業者が、ロボットを安全に操作しながら作業を行え、その精緻な技能をロボットに記憶させることで次世代の作業への伝承が可能な技術システム。また、記憶した技能をAIを用いて学習することにより自動運転プログラムも作成することができる。



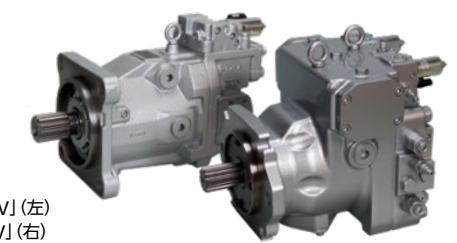
自動車ボディ組立ラインのスポット溶接ロボット「BXシリーズ」



建設機械用油圧ポンプ



手術支援ロボットシステム「hinotoriTM サージカルロボットシステム」



油圧モータ「M7V」(左)
油圧ポンプ「K8V」(右)

社会価値を創出する取り組み

精密機械ディビジョン

精密機械ディビジョンでは、2030年の目指す姿を次のように定めています。

- 当社の油圧機器・システムを世界中のお客様に拡販することにより世界標準化し、安定生産と供給を実現する
 - 人と環境にやさしい次世代建機の開発を当社製品を通じてサポートすることで、新興国を中心とした社会インフラの充実へ貢献する
 - 省エネルギー製品、水素対応製品、再生可能エネルギー対応製品の開発と販売を推進し、環境負荷低減へ貢献する
 - ICT・IoT・AIなどの最新技術と当社のロボット技術・油圧制御技術の融合により新しい価値を創造する
- これらの実現に向け、安定生産・供給体制の確立と、お客様

の次世代建機のICT・自動化・無人化に向けた油圧システムの研究開発に取り組んでいるほか、農業機械・産業車両分野への本格参入に向けた製品の開発・販売を進めています。また、欧州自動車メーカー向けに高圧水素減圧弁を量産中であり、二次量産品の開発に取り組んでいます。省エネルギー・低騒音油圧ハイブリッドシステム「Eco-Servo」も販売が好調、ヒューマノイドロボット用の小型電油アクチュエータも開発を進めています。



2021年度までの達成像	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社の油圧機器・システムを世界中のお客様に供給するといった世界標準化を目標として、コスト・品質・納期で最善となる世界最適地生産と安定供給体制の確立、および将来差別化技術の開発の推進、油圧ショベル分野・農業機械・産業機械・船用装置分野での一層の拡販 ● 自動車用高圧水素減圧弁やロボット事業とのシナジー分野などの、新事業における事業基盤の確立 ● 油圧機器生産・納入量：75万個
2019年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 油圧機器生産・納入量：70万個

ロボットディビジョン

ロボットディビジョンでは、2030年の目指す姿を、高齢化が進む先進国において、医療用ロボットの開発により、質の高い医療へのアクセスを容易にするとともに、ロボット技術を活用し、医薬品製造、介護医療、人体への負担が少ない治療法を開発する医療関係の皆様をサポートすること、また、Successorやヒューマノイドロボットなどの開発および知能化により、先進国を中心とする労働力不足を補うことと定めています。その実現に向けて、医療用ロボットを来るべき高齢化社会を支える事業と位置付け、シスメックス株式会社と合弁で医療用ロボット事業会社である株式会社メディカロイド

を設立し、産業用ロボット技術を応用したアプライドロボットと手術支援ロボットの事業化に取り組んでいます。また、Successorについては、特定顧客から販売を開始し、新規市場を開拓しています。ヒューマノイドロボットについては、実用化に向けて継続して開発しています。



2021年度までの達成像	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車既存顧客のシェアアップ、ラインビルダー提案力の強化、中国市場での一般産機販路拡大、人共存・協調分野の拡販推進、医療分野における手術支援ロボットの市場導入 ● IoT・AI・ロボットテクノロジーとの融合、油圧技術とのシナジー製品の開発推進 ● ロボット納入台数：4万台
2019年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ● ロボット納入台数：2万台